

I 図書館司書養成課程

図書館司書資格は図書館法の規定によって、主として公共図書館などにおいて、専門的業務をつかさどる職員に要求される資格です。

図書館が時代の要請に応じ、利用者の学習ニーズに適切に対応し、情報化を初めとする急速な社会変化に対応できるようにするために、図書館に置かれる専門職である司書の資質向上に向けて、養成内容の充実が図られています。

社会教育施設の中でも利用度の高い「地域の地の拠点」としての図書館を支える司書が、地域社会の課題や人々の情報要求に対する的確に対応し、より実践力を備えた質の高い人材として育成されるよう、大学等の司書養成課程における養成科目（カリキュラム）の充実・改善が図られ、図書館法施行規則の一部改正により新科目として平成24年4月からスタートしました。

その図書館司書養成課程のカリキュラムは67ページに記載しています。図書館司書資格を取得するためには次の表に従って、履修しなければなりません。

区 分	修得すべき単位	備 考
必 修 科 目 (法令上は甲群)	22 単位	
選 択 必 修 科 目 (法令上は乙群)	2 単位	言語コミュニケーション学科の在学生は「図書館総合演習1単位」を専門ゼミ(司書課程の専門ゼミ:山口ゼミが該当)2単位のうちの1単位として認定することができます。
合 計	24 単位	

【注意】上記表に従い24単位を修得した場合であっても、卒業要件単位を充足できずに卒業が認定されない場合は、図書館司書資格を取得することができません。

また、本学では平成30年度入学者から図書館司書養成課程科目を卒業要件単位として認定することから、図書館司書資格が取りやすくなっています。本学の図書館司書課程の特色は以下の通りです。

【本学図書館司書課程の特色】

1. 図書館司書養成科目を卒業要件単位として認定（平成30年度入学者から適用）。

卒業要件
62 単位

司書課程
24 単位

この24単位分の時間を

- ・図書館司書になるための公務員試験対策の学習時間とする。
- ・より充実した学生生活を送るためにクラブ活動やボランティア活動などの時間に当てる。

- ・幅広い知識や教養を身につけ、豊かなコミュニケーション能力を獲得するために他の授業科目を受講する。

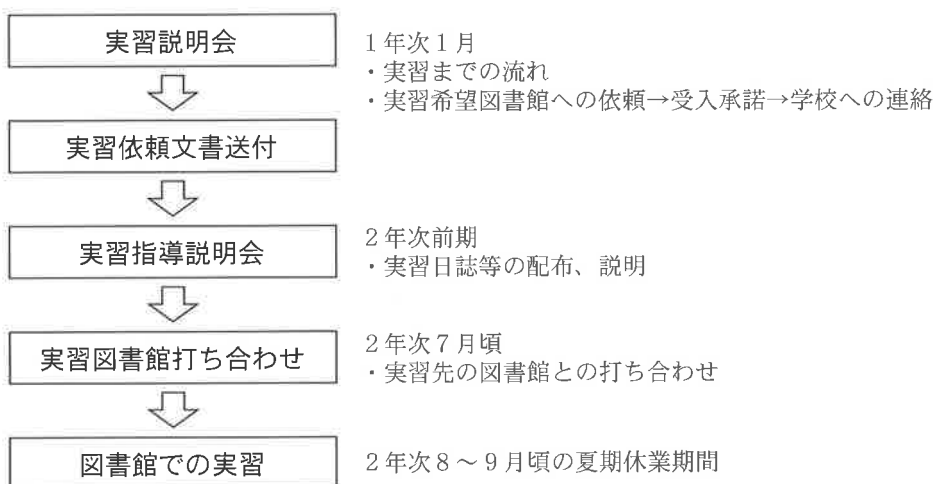
といったことが可能となります。

2. 図書館や司書についてより広く、深く学ぶためのゼミの開講。
3. 図書館司書になるための支援体制の充実－「公務員試験対策講座」の開設。

【図書館実習】

信州豊南短期大学では平成24年度から図書館実習を正式な授業科目として取り入れています。図書館実習は2年次の夏期休業期間に1週間、各地の図書館で実習を行っていただきます。図書館現場での学びは皆さんに多くの刺激を与えてくれるに違いありません。

実習までの流れは次のとおりです。



【注 意】

図書館司書資格を取得するための基礎資格※として「短期大学卒業」があります。学生は、卒業することが前提となっていますので、他の卒業要件科目の履修とともに、当該資格科目を履修することができます。

ただし、当該資格取得に関する単位24単位をすべて取得しても、本学を卒業できなかった場合には、資格を取得することができません。その場合、卒業が認定された時点で、資格を取得することができます。

※「基礎資格」は、次の通り定められています。

- ① 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者、又は高等専門学校を卒業した者。
- ② 3年以上司書補として勤務した経験を有する者。

II 図書館司書養成課程カリキュラム表

区分	授業科目名	授業形態	単位数			1年		2年		担当 教員名	シラバス 記載 ページ
			必修	選択必修	選択	前期	後期	前期	後期		
必修	生涯学習概論	講義	2			○				山口	283
	図書館概論	講義	2			○				坂田	284
	図書館制度・経営論	講義	2			○				坂田	285
	図書館情報技術論	講義	2			○				齋藤	286
	図書館サービス概論	講義	2				○			坂田	287
	情報サービス論	講義	2				○			山口	288
	児童サービス論	講義	2					○		藤森	289
	情報サービス演習Ⅰ	演習	1				○			坂田	290
	情報サービス演習Ⅱ	演習	1					○		坂田	291
	図書館情報資源概論	講義	2					○		藤森	292
	情報資源組織論	講義	2			○				山口	293
	情報資源組織演習Ⅰ	演習	1				○			山口	294
	情報資源組織演習Ⅱ	演習	1					○		山口	295
選択必修	図書館サービス特論	講義		1					○	藤森	296
	図書館情報資源特論	講義		1					○	藤森	297
	図書館総合演習	演習		1				○		山口	298
	図書館実習	実習		1				○		山口	299

【注 意】

1. 図書館司書資格取得を目指す者は、上記科目の単位を卒業要件単位として認定します。

また、「図書館総合演習」は「専門ゼミ（図書館に関するゼミ）」演習 2 単位のうちの 1 単位として認定します。

【参考】新科目・旧科目の読み替え表（平成23年度以前の当該科目履修者対象）

新科目		旧科目（本学における）	
生涯学習概論	2 単位	生涯学習論	1 単位
図書館概論	2 単位	図書館概論	2 単位
図書館制度・経営論	2 単位	図書館経営論	1 単位
図書館サービス概論	2 単位	図書館サービス論	2 単位
情報サービス論	2 単位	情報サービス論	2 単位
児童サービス論	2 単位	児童サービス論	1 単位
情報サービス演習	2 単位	レファレンスサービス演習	1 単位
		情報検索演習	1 単位
図書館情報資源概論	2 単位	図書館資料論	2 単位
情報資源組織論	2 単位	資料組織概説	2 単位
情報資源組織演習	2 単位	資料組織演習 I	1 単位
		資料組織演習 II	1 単位

【注意】平成22年4月1日以後に旧科目の乙群の欄に掲げる単位を修得した者が、平成24年4月1日以後に新たに司書となる資格を得ようとする場合には、すでに修得した旧科目の単位は新科目の乙群の単位とみなします。

Ⅲ 学校司書養成プログラム

これまで「学校司書」として働いている方は数多くいらっしゃいましたが、「学校司書」の名称は法制化されておらず、その意味ではややあいまいな位置づけとなっていました。平成26年度の学校図書館法の改正により「学校司書」の名称が法制化され、学校図書館への学校司書の配置が努力義務とされました。

児童生徒の創造力を育て、学習への興味、豊かな心をはぐくむ読書活動を支える学校図書館。子どもたちの自発的な学習や協働学習を支援する学校図書館。問題解決のための情報収集、情報の選択、活用能力の育成に一役買うのも学校図書館です。また、主体的・対話的で深い学びを効果的に進める基盤としての役割を果たすのも学校図書館です。

このように学校図書館に求められるものは多く、特に学習指導要領においてアクティブラーニングが重視され、図書や新聞、DVDなどの映像資料などの多様な資料の提供や、調べ学習に対する助言など学校司書の役割、重要性は増すばかりです。

信州豊南短期大学ではこれまでの図書館司書養成の長い経験と実績を活かし、平成30年度から学校司書養成カリキュラムを導入することにしました。

以下に定める単位を修得（学校司書養成プログラムに定める20単位・本学では22単位）した者には「学校司書養成プログラム履修証明書」を発行します。

【学校司書養成プログラム】

	科目名	単位数	備考
学校図書館の 運営・管理・ サービスに関 する科目	学校図書館概論	2	左記に該当する図書館司書養成科目の単位を修得している場合には学校司書の当該科目として認定 ※「情報資源組織演習2単位」は「情報資源組織演習Ⅰ 1単位」「情報資源組織演習Ⅱ 1単位」として開講
	図書館情報技術論	2	
	図書館情報資源概論	2	
	情報資源組織論	2	
	情報資源組織演習	2	
	学校図書館サービス論	2	
	学校図書館情報サービス論	2	図書館司書養成科目の「情報サービス論」「情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ」の3科目4単位を修得した場合、「学校図書館情報サービス論」として認定
児童生徒に対 する教育支援 に関する科目	学校教育概論	2	
	学習指導と学校図書館	2	
	読書と豊かな人間性	2	
	合計	20	本学では22単位の修得が必要

信州豊南短期大学では、文部科学省が示す「学校司書のモデルカリキュラム」を踏まえ、上記学校司書養成科目の一部を図書館司書養成科目で読み替えることで、在学中に「図書館司書資格」と「学校司書養成プログラム履修証明書」の二つを取得することができます。

学校司書養成プログラム・カリキュラム表

区分	授業科目名	授業形態	単位数			1年		2年		担当者名	備考	
			必修	選必	選択	前期	後期	前期	後期			
学校司書	学校図書館概論	講義	2				○			山口	図書館司書養成科目の該当科目を履修し単位を修得すること	
	図書館情報技術論	講義	2			○				齋藤		
	図書館情報資源概論	講義	2					○		藤森		
	情報資源組織論	講義	2			○				山口		
	情報資源組織演習Ⅰ	演習	1				○			坂田		
	情報資源組織演習Ⅱ	演習	1					○		坂田		
	学校図書館サービス論	講義	2						○	藤森		
	学校図書館情報サービス論 (講義2単位)	情報サービス論	講義	2				○			山口	図書館司書養成科目の「情報サービス論・2単位」「情報サービス演習Ⅰ・1単位」「情報サービス演習Ⅱ・1単位」の4単位を修得した場合「学校図書館情報サービス論・2単位」として認定
		情報サービス演習Ⅰ	演習	1				○			坂田	
		情報サービス演習Ⅱ	演習	1					○		坂田	
	学校教育概論	講義	2						○	塩崎		
	学習指導と学校図書館	講義	2						○	藤森		
	読書と豊かな人間性	講義	2						○	山口		
合計			22									

- 【注意】 1、網掛けの科目のみを学校司書プログラムとして開講します。この科目の単位は卒業要件単位には算入されませんので注意してください。網掛けのない科目は図書館司書科目として開講されることから卒業要件単位に算入されます。
- 2、「学校図書館情報サービス論」は上記記載の3科目（図書館司書科目）の修得により単位が認定されるものです。
- 3、網掛けの科目のみの修得では「学校司書養成プログラム履修証明書」を発行することはできません。「学校司書履修証明書」の発行を受けるためには、上記22単位の修得が必要になります。【注意】の記載事項及び備考欄記載事項について十分確認したうえで履修してください。